

お話を 作ろう① (人物と ばしょ)

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

お話に 出て くる 人物と ばしょを きめよう

まず、たしかめよう

- お話を 作る ときは、まず「だれが」「どこで」を きめる。
- れい：だれが → くつしたの ソックス どこで → せんたくものの かごの中

いっしょにやってみよう

れい 人物を きめる ときは？

ステップ ①

どうぶつ・もの
なんでも よい。

ステップ ②

名前を つけると
楽しい。

ステップ ③

れい 例：かさの カサオ

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 人物を 一つ えらぶか、自分で 考えよう。

☐ こぐまの モコ

☐ えんぴつの ピンタ

☐ じぶんで 考える

② ばしょを 一つ えらぶか、自分で 考えよう。

☐ 森の中

☐ つくえの上

☐ 雲の上

③ えらんだ 人物と ばしょを つかって、お話の 1文目を 書こう。

答え 1. 例：えんぴつの ピンタ 2. 例：つくえの上 3. 例：つくえの上に、えんぴつの ピンタがいました。

少し 長い お話を 読もう ②

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

お話を 読んで、すきな ところと その わけを 書こう

🔍 お話を 読もう

ことりの ピピは、まだ うまく とべません。ほかの 鳥たちが 空高く とんで
いくのを、いつも 木の上から 見ていました。

ある 日、ピピは 小さな 声で 言いました。「ぼくも、とんで みたいな。」

それから まいにち、ピピは ひくい えだから ひくい えだへ、少しずつ とぶ
れんしゅうを しました。

秋の おわり、ピピは はじめて 森の 上まで とびました。風が
とても 気もちよかったです。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい ピピが 毎日 した ことは？

① 三つめの
まとまりを読む。

② 「少しずつ とぶ
れんしゅう」

③ とぶ れんしゅう

✎ やってみよう

♥️ できたところまでで OK

① はじめ、ピピは ほかの 鳥たちを どこから 見ていた？

☐

木の上

☐

森の上

☐

空の上

② ピピが はじめて 森の 上まで とんだのは いつ？

()

③ すきな ところを 一つ えらんで、わけと いっしょに 書こう。

答え

1. 木の上 2. 秋のおわり

3. 例：まいにち れんしゅうした ところが すきです。少しずつ がんばっているからです。

かんじ

漢字（むかしの まち）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

かんじ

漢字「京・寺・社」を読んで書こう

きょうの 漢字

京

キョウ・ケイ

とうきょう きょう
東京・京と

寺

ジ・てら

てら てら
寺・お寺
上は「土」

社

シャ

かいしゃ じんしゃ
会社・神社

いっしょにやってみよう

れい 「おてら」の「てら」はどれ？

① 上は「土」、
下は「寸」

② 「てら」と読む字

③ 答え 寺

やってみよう

できたところまででOK

① 線の 漢字の 読みがなを 書こう。

(1) 東京

(2) お寺の かね。

(3) 会社

② □に 漢字を 書こう。

(1) とう きょう
□ □ に行く。

(2) ふるい お てら
□ □。

(3) じん じゃ
□ □

③ 「とうきょう」と読む ことばは どれ？

☐

東京

☐

東寺

☐

西京

答え

1. (1) きょう (2) てら (3) しゃ 2. (1) 東京 (2) 寺 (3) 社 3. 東京

ことばを あつめよう（雨の日）

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう（3もん）

🚩 きょうの
めあて

一つのテーマでことばを あつめて、
つかえる ことばを ふやそう

🔍 まず、たしかめよう

あつめ方	雨の日のことば
もの	かさ・ながぐつ・水たまり
音	ザーザー・ポツポツ
ようす	しとしと・じめじめ
うごき	ふる・ぬれる・はねる

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「かさ」と同じ「もの」のなかまは？

ステップ①

雨の日に
つかうもの。

ステップ②

足にはくもの
もある。

ステップ③

れい
例：ながぐつ

✎ やってみよう

♥️ できたところまででOK

① 雨の日の「もの」のことばを2つ えらぼう。

☐ レインコート

☐ うちわ

☐ 水たまり

☐ すなはま

② 雨のようすに合う ことばを えらぼう。

雨が（ ）ふりつづく。

☐ しとしと

☐ からから

☐ ぽかぽか

③ 雪の日のことばを2つ 書こう。

（ ） （ ）

答え

1. レインコート・水たまり

2. しとしと

3. 例：雪だるま・しんしん

お話を 作ろう②（はじめ・なか・おわり）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

「はじめ・なか・おわり」の じゅんに、^{みじか} 短い お話を 作ろう

まず、たしかめよう

まとまり	書く こと	れい
はじめ	だれが どこに いたか	つくえの 上に えんぴつの ピンタがいた。
なか	何が おきたか	けしゴムが ころがって おちそうに なった。
おわり	どう なったか	ピンタが ささえて、けしゴムは たすかった。

いっしょにやってみよう

れい 「なか」に 書く ことは？

ステップ ①

お話が
うごく ところ。

ステップ ②

何か ^{できごと} 出来事が
おきる。

ステップ ③

何が おきたか

やってみよう

できたところまでで OK

① 「おわり」に 合う 文を えらぼう。

☐ ふたりは「ありがとう。」と わらった。

☐ つくえの 上に、ピンタがいた。

② れいの「なか」の ^{できごと} 出来事は 何？

③ 「お話を 作ろう①」で きめた ^{じんぶつ} 人物で（または れいの ピンタで）、「なか」と「おわり」を 1文ずつ 書こう。

答え

- ふたりは「ありがとう。」と わらった。
- けしゴムが ころがって おちそうに なった。
- 例：なか...ピンタの しんが おれてしまった。おわり...えんぴつけずりが けずって くれて、元気になった。